



竹や木の伐採には、「間伐」「択伐」「皆伐」の3種類があります。

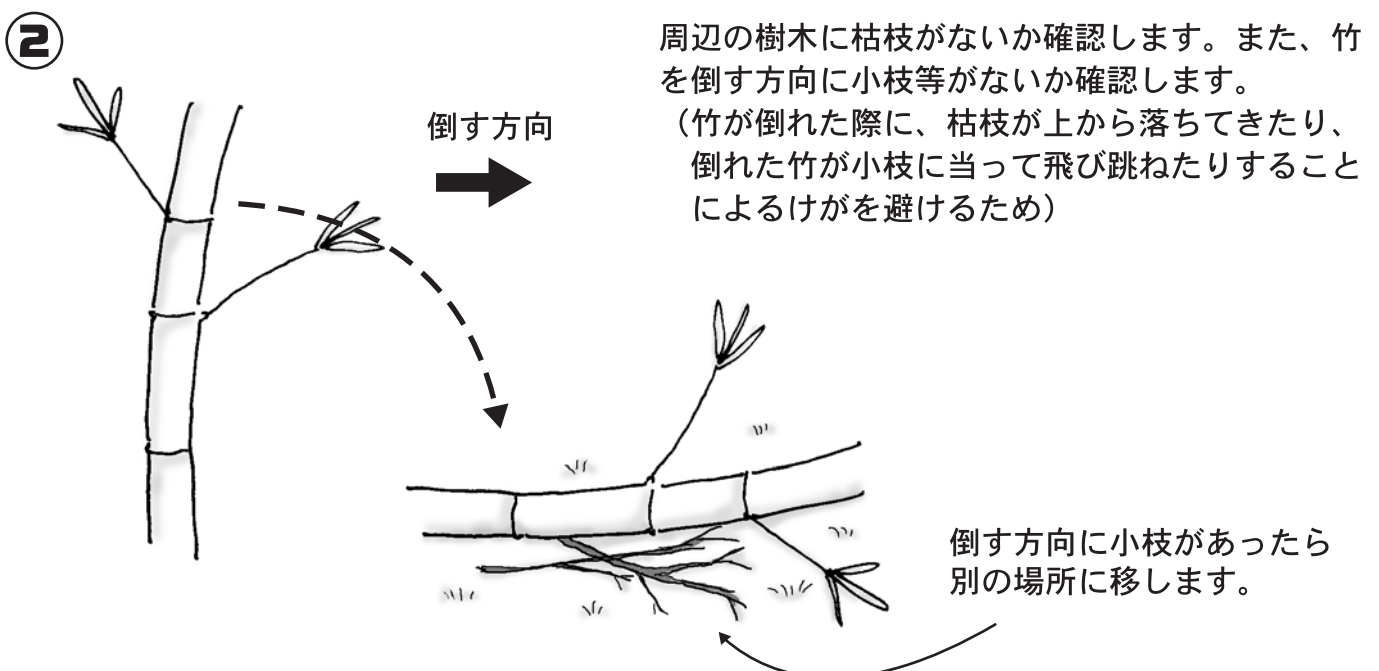
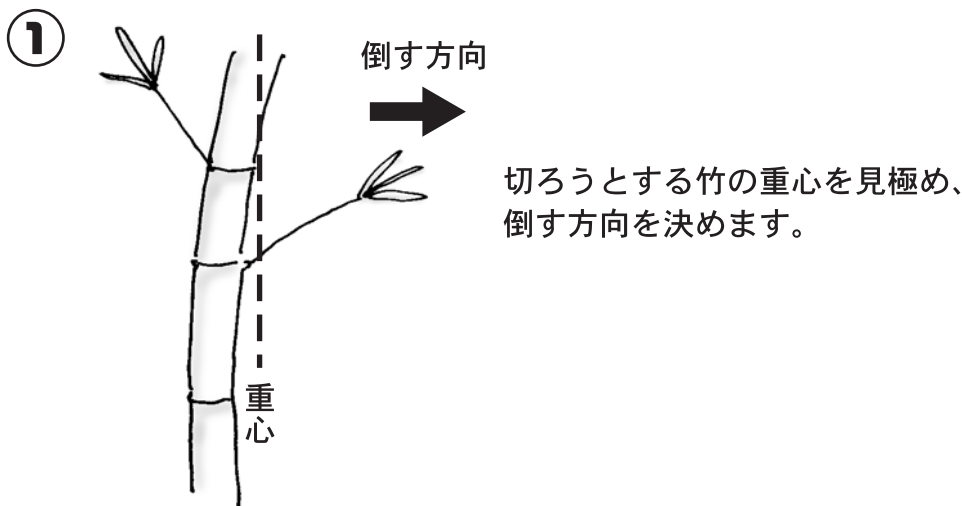
「間伐」…木などの生長を促すため、不要なものを適度に間引くこと。密度を粗にすること。間伐の目安は、竹林の中を傘をさして歩ける程度が望ましいでしょう。

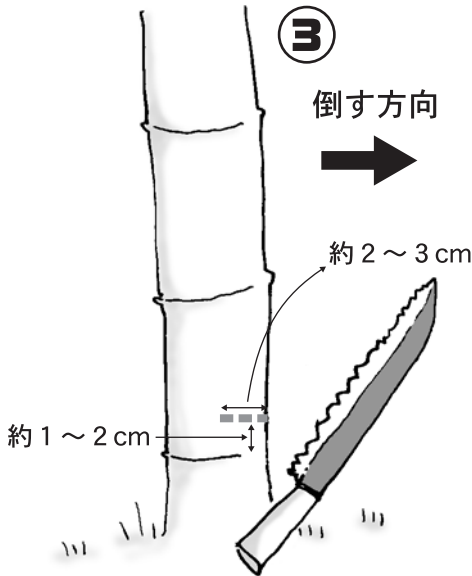
「択伐」…生長量等を踏まえて、必要な木を選び、その他を伐採すること。

「皆伐」…ある一定の区域のすべての竹を伐採すること。

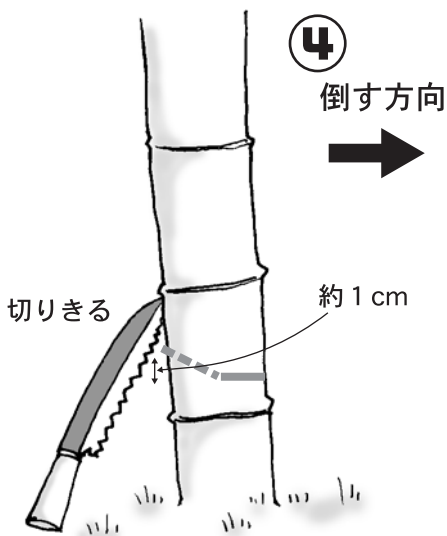
竹の倒し方（切り方）

・基本的には地際で切り倒します。高切り（高い位置で竹を切ること）は、危険なので行わないようにしましょう。

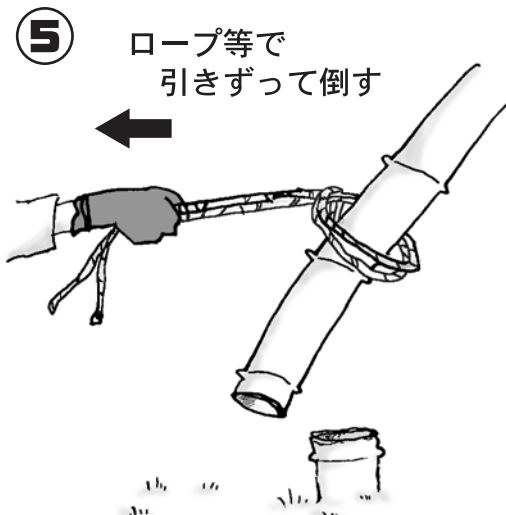




- ・倒す方向側（重心側）の地際の節の1～2 cm上をノコで2～3 cm切り込みます。…〈受け切り〉
- ・ノコがはさまったら。ノコを慎重に引き抜いてください。



- ・反対側に体を入れ替え、倒れる範囲内に人がいないか確認します。このとき、倒す方向の反対側も注意してください。人がいたら、声を掛け、注意を促しましょう。
- ・足場を固め、自分の逃げ道を確保します。
- ・最初にノコ目を入れた箇所の反対側の約1 cm上を受切り口に向かってノコで切りきります。…〈本切り〉



- ・竹が倒れないときは、ロープ等で根元を倒す反対方向に引きずって倒します。ひとりで倒すのが難しいときは、無理をせず助っ人を呼んで手伝ってもらうようにしましょう。
- ・竹は立っていると低く感じて、倒すと意外に長いものです。倒れる範囲を広めに考えるようにしましょう。



竹の処理の仕方

- ・ 1本の竹はひとりで処理することを基本とします。
- ・ 作業にリズムをつけるため、
「枝払い」→「運搬しやすいように竹を切る」→「切り落とした枝等の運搬」というように、作業を交互に行うようにしましょう。

【枝払い】

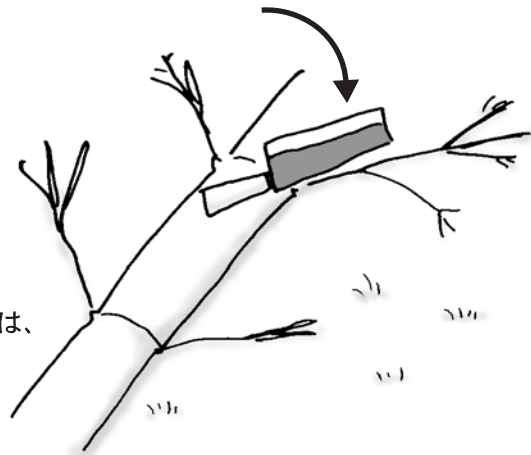
枝の根元方向からスナップを用いて軽く振り下ろすだけで、簡単に切り落とせます。



- ・ 必ず、切る枝と自分の足の間に竹の幹がくるような立ち位置で作業をします。また、ナタの刃が自分の足の方向に向かないよう注意しましょう。
(竹と平行に構え、前方から後方へ、手首のスナップを用いてナタを軽く振り下ろします。当てる角度は45°強ぐらいを目安にしましょう。素人は角度が浅すぎて切れないことが多いようです)
…逆側の枝を払う場合は、面倒でも必ず体を入れ替えてください。
- ・ ナタを持っていない方の手は、危険防止のため、不用意に前に出さないようにしましょう。(腰の後ろにおいても作業はできます)

- ・ 枯れた竹の枝は固いので、ナタの刃で切り落とさないようにしましょう。意外と簡単に刃が欠けてしまいます。

ナタで枯枝を落とす場合は、必ず峰打ちします。



【枝払いの方法例】

方法1：ナタで切り落とす

枝の生え際を根元方向から切り落とします(枝の切り口は鋭くなるため、注意が必要です)。

方法2：竹の棒で切り落とす

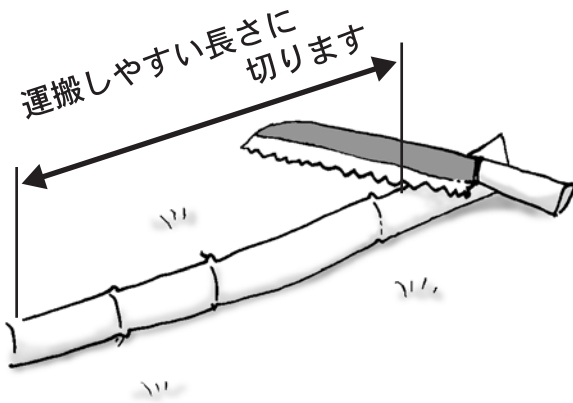
約1.2~1.5mの竹の棒で、枝の生え際を先端方向から叩き落とします。

方法3：剪定ばさみで切る

細い枝は、あえてナタ等を使わず、剪定ばさみで切った方が安全です。



【竹の切断】



- ・ 運搬しやすいよう、適度な長さに、節の間をノコで切り分けます。
- ・ 安全確保のため、2人が同時に2箇所で作業を行わないようにします。
- ・ 斜面地で切る場合、切り端が斜面を滑り落ちることがあります。切る前に斜面の下側に人がいないことを確認してください。



運搬の仕方

- ・運搬は、必ずノコやナタ等の刃をしまって行います。
ノコやナタ等を持ったまま、運搬しないでください。



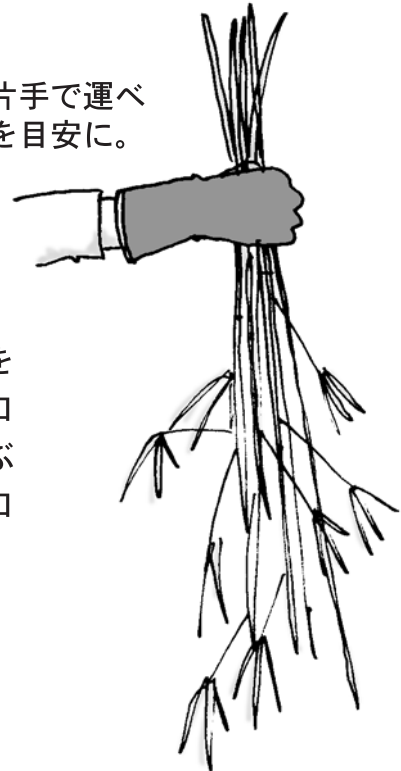
ノコ、ナタは
ひきましょ。う。

ナタを置く場合は、目印に
なる木の根元に置くように
しましょう。



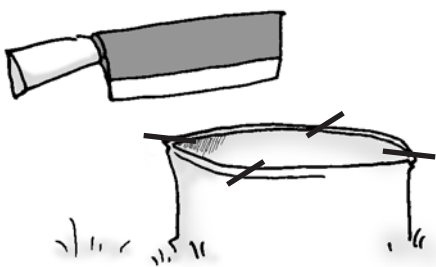
切り口を先に

量は片手で運べ
る量を目安に。



- ・枝を運搬する際は、切り口の向きを揃えて、切り口を先にして片手で運べる量を運ぶようにします。切り口を自分の体に向けて運んだり、両手で枝を抱えて運ぶと、足下が見えないため、切り株で転んだり、切り口が体に刺さることがあります。

竹の切り株の処理の仕方



- ・竹を枯らす場合は、早く朽ちるように、切り株には、ナタで十文字にクサビを入れておきます。
- ・足を切らないよう十分気をつけてください。